

令和4年4月6日

始業式

改めて新2年生、新3年生の皆さん、おはようございます、令和4年度のスタートにあたりお話をさせていただきます。

私は外からこの藤代高校を見てきましたが、ここ数年の藤代高校の躍進には目を見張るものがあります。

学校に着任してすぐ、取手市の市長さんや教育長さんにご挨拶した時に言われたことは、部活動や国公立大学の合格者数など現在の躍進する藤代高校に対するさらなる期待です。藤高のOBもいたるところで多数活躍しているそうです。また、市長さんには、本校から取手のキリンビールあたりまで大きな商業施設（全国トップクラスのイオンタウン）を計画しており、藤代高校とともにこの地区を発展させたいとおっしゃっていただきました。

また、学校で見て感じたことは非常に教育熱心な先生方が多いということです。県内でも非常に上位だと思います。どのようなことかということ、生徒それぞれの個人のデータを分析しながら個に応じた進路指導を計画しています。学部などの適性や進学先の情報収集にも余念がありません。また国際教育や学校行事など皆さんの在学中の思い出の1ページに彩を添える準備にすでに取り掛かっているとも聞いています。

さらに、まだ多くの生徒と顔を合わせてはいませんが、出会った生徒は礼儀正しく挨拶もしっかりしており、非常に好感の持てる生徒たちでした。このような献身的な先生方や規律ある生徒の多い環境の中で過ごせることを改めてうらやましく思います。戻れるならここで高校生活を過ごしたいとも思いました。皆さんにはこのようななかで、真摯に高校生活を送ってほしい気持ちでいっぱいです。

そこで皆さんに年度初めにお話しするのはまず目標ではなくあくまでも「基本」として、「明るい学校生活」、「楽しく学習に取り組む」、「元気よく部活動など」に取り組むことです。また自分以外の多様な個性を持った他者を受け入れてください。「仲良く」です。

まとめると、「明るく」、「楽しく」、「元気よく」、そして「仲良く」です。繰り返しますが、これを目標にするわけではありません。基本ベースです。

そのベースのもとで皆さんに今日お願いしたいことは一つ。「藤高クオリティ」を「藤高プライド」に一段ギアを上げ、行動全般に「藤高生」として、その行動は正しいのかを考えながら真摯な高校生活を送って欲しいと思います。困った人を見て見ないふりをするのが「藤高生」として正しいのか。審判が見ていな

いところならルールを破っても勝つためにはみんなやっているからやる、でも「藤高生」としてそれでいいのか考えることです。

ともすると損か得かで行動を判断することの多い世の中ですが、だからこそ、常に心に「藤高プライド」を持って行動してください。明日入学する新入生の偉大なお手本となってください。3年生は進路実現に向け、意識が高い人ほど焦りを感じる時期です。感じていない人はややのんびりしています。その残り時間とやらなければならない学習量の多さのギャップに逃げ出したくなることもあります。しかし、簡単に目標を下げず、最後まで粘ってください。受験は団体戦です。切磋琢磨で乗り切ってください。

2年生は部活も含め行事なども中心になってきます。学習面では大きく差が開く時期でもあります。一番忙しく、一番充実して、一番楽しく、一番思い出に残る学年です。やり切りましょう。結果に左右されることも多いですが、そこに向かって努力すること、要するに「過程」が大切です。結果が出ない場合、その評価は自分でしかできないかもしれません。その時は頑張った自分をほめてあげましょう。

両学年とも新入生の良き先輩になってください。結果だけに振り回されず、向上心と「藤高プライド」を持って、自分の可能性にチャレンジしてください。

以上